

# ◆ セニピエール ◆ (準備)

## 《材料》

種類	商品名	容量、施工面積
下塗り材 (シーラー)	①セニショー	10L=±80㎡
ベース材	②セニピエール(パウダー状)	25kg=±3~4㎡(煉瓦) ±2㎡(偽石)
強化材	③アクリル樹脂	仕上げ材1缶に対し樹脂10が標準
着色剤	④アバナカラー(パウダー状)	仕上げ材1缶に対し色粉1袋が標準

※施工面積は、下地の状況や施工方法、またテクスチャーによって変動します。  
 ※色粉は種類によって内容量が異なります。



①

②③④

# ◆ セニピエール ◆ (施工)

## ① 下塗り

セニショー(シーラー)は、下地と壁材の接着をよくするため必ず使用してください。

セニショーをローラーなどで塗った後、6~12時間乾かしてください。

2度塗りの際には、4時間以上乾かしてから2度目を塗ってください。

※ 内装の場合にはセニクリルをご使用ください。



## ② セニピエール調合

セニピエールは未着色(乳白色)であり、着色剤を使用する壁材です。

着色する場合は、セニピエール25Kgに対してアバナカラーを1袋入れてよく混ぜ、別容器に入れた指定量の水(約40)と樹脂の中にセニピエールを入れムラができないように攪拌します。

(色によって色粉量、水量が異なります)

※ 攪拌後に15分~20分程度おきます。

※ 床材に使用する場合は樹脂をセニピエール25kgに対し20入れます。

※ 入れるカラーの量により自由に調色できます。



## ③ 仕上げ(煉瓦)

材料が攪拌できたら鏝で塗っていきます。

厚みは3mm厚程度で平滑に塗ってください。

軽く手で触ってもセニピエールが手につかない状態まで乾いた頃に目地を入れます。

(夏30分、冬1時間が目安です)

定規などを使い目地鏝やねじ回しなどを使用することをお奨めします。

次に本物の煉瓦に見せるため鏝で古びた風合いを出します。

鏝の裏面で軽く削るようなイメージで施工してください。

更に古びた風合いにする場合はアバナカラーを直接刷毛で塗ります。



約12時間、完全にセニピエールを乾燥させ目地を詰めていきます。



目地材はセニピエールとアバナカラー・次に水を混ぜて攪拌します。  
(目地材にアクリル樹脂は入れません)  
最後に目地を伸ばし完成です。



#### ④ 仕上げ(偽石)

材料が攪拌できたら鏝で塗っていきます。  
厚みは5mm厚程度で平滑に塗ってください。  
軽く手で触ってもセニピエールが手につかない状態まで乾いた頃に目地を入れます。  
(夏30分、冬1時間が目安です)  
目地鏝やねじ回しなどを使用することをお奨めします。  
※煉瓦模様とは違い偽石はランダムに目地を入れていきます。



次に偽石の風合いを出すために鏝で古びた風合いを出します。  
鏝の裏面で軽く削るようなイメージで施工してください。  
更に古びた風合いにする場合はアバナカラーを直接刷毛で塗ります。  
鏝や専用サンダーで磨き押さえをすると光沢感も出すこともできます。



約12時間、完全にセニピエールを乾燥させ目地を詰めていきます。  
目地材はセニピエールとアバナカラー・次に水を混ぜて攪拌します。  
(目地材にアクリル樹脂は入れません)  
最後に目地を伸ばし完成です。



簡単な施工方法だけになりなりますので実際の施工の場合は  
担当者に御問合せください。

#### ◆施工に関して

- ・ 施工前に試し塗りをしてパターンを確認してください。
- ・ 雨天時など湿度が高い時や、完全に乾燥するまでに雨にあたる場合には材料が流れたり、剥離する場合がありますのでご注意ください。
- ・ 施工時から完全に乾燥するまでに、気温が5℃以下になる場合には、クラックの原因になります。
- ・ 施工方法の文中の説明は、気温20℃の場合の乾燥時間の目安です。
- ・ 天候や気温・湿度によって乾燥時間は異なります。
- ・ 乾燥を急ぐ際の器具等を使っての急激な乾燥は、ひび割れの原因になりますので十分ご注意ください。
- ・ 外装に使用する場合に軒天のない場合は汚れが付着しやすいのでご注意ください。
- ・ 寒冷地の特に積雪地帯に使用する場合は亀裂や剥離の恐れがありますので必ず担当者にご相談下さい。
- ・ 各作業は、必ず前工程の乾燥後に行ってください。
- ・ 養生は施工後できるだけ早く除去してください。

#### ◆安全に関して

- ・ 施工場所をよく換気してください。
- ・ 誤って目や口に入ってしまった場合は、清潔な水で洗い流すなどしてから医師の診断を受けてください。
- ・ 施工後は手洗い、うがいを行ってください。

#### ◆下地に関して

### モルタル

- ① モルタルの養生は、しっかりと行って下さい。
- ② モルタルの凹凸や亀裂がある場合は補修をお願いします。
- ③ 専用シーラーの前に急激な吸水を和らげるため、浸透性のプライマーを塗る事がお奨めです。

- ・ いずれの場合においても、乾燥が不十分ですと仕上げ材の乾燥の遅れにより表面強度の低下や剥離の原因になりますのでご注意ください。

## 石膏ボード

- ① 石膏ボードの動きや剥離がないことを確認します。  
出隅に面引きを使う場合はカッターで出隅の面をカットしておくことで作業がしやすくなります。
- ② 目地の部分にジョイントテープ(寒冷紗テープ、ファイバーテープ)を貼ります。出隅、入隅部分も同様の作業を行います。
- ③ はじめに下パテをヘラ等でビス穴に埋めます。次にジョイント部分を約15cm幅で塗っていきます。出隅、入隅部分も同様に約15cmの幅で塗ります。
- ④ 下パテが完全に乾燥した後、上パテをビス穴に塗ります。  
同様に上パテでジョイント部分、出隅、入隅に約20cmの幅で塗っていきます。